

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書

氏名	やまが みさこ 山賀 美沙子
所属学部・研究科	教育学部 4年次
留学先大学	国立成功大学 (国名:台湾)
プログラム名称	2017 NUCK International Summer School Program
プログラム期間	平成29年7月20日～ 平成29年8月4日

1. 渡航について

出国年月日	平成29年7月20日
経路	KIX (大阪) → KHH (高雄)
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・ <input checked="" type="checkbox"/> 成功大学のバディ) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	平成29年8月7日
経路	KHH (高雄) → KIX (大阪)

2. 所要経費について

所要経費	総額	70000	円	
	内訳	交通費	40000	円
		食費	10000	円
		通信費・光熱費	7000	円
		旅行費	10000	円
		交際費	3000	円

3. 参加プログラムに関する感想

充実しすぎていたたった2週間だったとは思えないような充実した2週間でした。①コース、②課外時間、③生活の3点について書きたいと思います。①成功大学は台南地方で一番レベルの高い台湾の大学です。そこで2週間のサマースクールとして、“Circular Economy”について台湾人を含むアジア諸国からの留学生がともに学びます。私のクラスメートは台湾人3人、香港人2人、インドネシア人2人、韓国人3人、ベルギー人1人、日本人3人の14人プラス成功大学のティーチングアシスタント4人ほどでした。4日間の校外学習を含み、授業はオランダ人の先生のもとほぼ英語で行われました。Circular Economy で学んだことをもとに橋頭にある砂糖会社でグループごとにプレゼンテーションをして最後の授業は終わりました。またほかにも1日2時間中国語の授業もありました。②毎日授業は朝9時ごろから夕方6時半ごろまであります。そのあと私は週に2回、成功大学のBuddyとその友達と会って、モーターバイクで夜市に出かけたり、小籠包を食べに出かけたり、スーパーに買い出しにでかけたりして、外にでかけるようにしていました。夜になるとクラスメートと寮の地下にある卓球台で卓球大会をはじめて、“Ping-pong Summer school”と名付け裏合宿を行う日もありました。(私は眠くない時だけ参加していましたが、タフなクラスメートによってほぼ毎日行われていました。笑)③基本的に参加者はクラスメートと、または現地の大学院生との相部屋で寮に暮らしていました。寮に置いてある冷蔵庫は機能しないので朝昼晩と屋台で買い食い、またはコンビニで食べ物を買って、食べました。地下に洗濯機もあり10台湾円で使えます。部屋はトイレとシャワー付きです。

**広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書**

氏名	さくらい こうたろう 櫻井光太郎
所属学部・研究科	法学部 2年次
留学先大学	國立成功大学 (国名: 台湾)
プログラム名称	HUSA ショートプログラム台湾國立成功大学サマースクール
プログラム期間	平成 29年 7月 20日～ 平成 29年 8月 4日

1. 渡航について

出国年月日	平成 29年 7月 20日
経路	関西国際空港→高雄国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	平成 29年 8月 5日
経路	高雄国際空港→関西国際空港

2. 所要経費について

所要経費	総額	99,200	円
	内訳	寄宿費	30,000
渡航費		39,200	円
滞在費		30,000	円
費			円
費			円

3. 参加プログラムに関する感想

二週間という短い期間のプログラムだったが、平日は毎日 18 時まで授業が行われ、休日にも文化研修がおこなわれたので充実した二週間を送ることができた。

授業はサーキュラーエコノミーと中国語の二つで、特にサーキュラーエコノミーの授業は自分にとってはかなり難易度の高いものだった。サーキュラーエコノミーの授業では最後にプレゼンテーションを行なったので英語能力も向上したと思う。参加者はアジアの様々な国から集まっており、英語で会話するのでそれも自分にとって良い経験になったと思う。大学のサポートも手厚く、参加者一人につき成功大学の学生二人がバディーとして日常生活の手助けをしてくれた。宿泊先は大学構内の寮だった。部屋は二人部屋でシャワー、トイレ、エアコンが完備されており快適に過ごせたが、WiFiがなかったことは少し不便だった。ルームメイトは成功大学の学生だった。

コインランドリーも寮の中にあるので生活する上で特に困ることはなかった。同じプログラムに参加していた学生も全員同じ寮に滞在していた。エアコン代がチェックアウト時に請求されたが高くはなかった。食事は、三食全て外食だった。大学の近くには屋台や安い料理屋がたくさんあるので一日 200 元ほどで三食食べることができた。

次回参加する方へのアドバイスとしてはまず、サーキュラーエコノミーの授業の内容は専門外の人にとっては少し難しいので事前に多少なりとも知識を得ておいた方が良いということ、成功大学のキャンパスはとても広くかなりの距離を徒歩で移動することになるので歩きやすい靴を持って行く方が良いと思う。



国立成功大学
in 台湾
2017 Summer School

